

よりだ寺福廣

25号

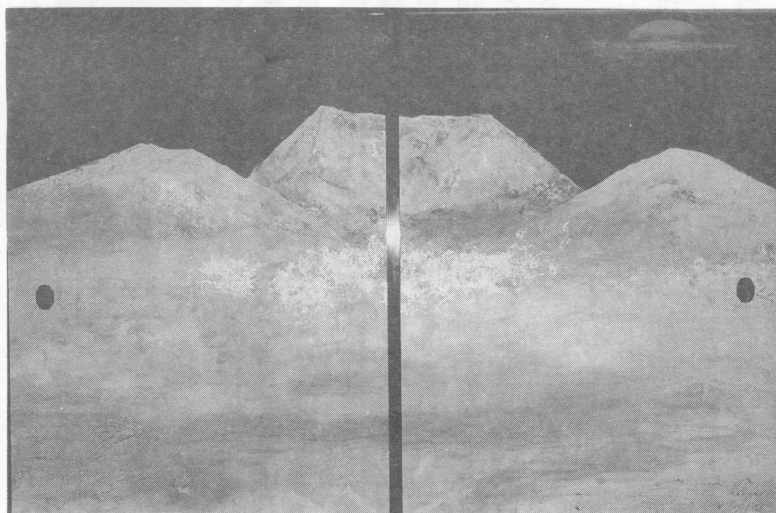
書院に柴田画伯の襖絵

七幅

かねて大谷統司氏から当寺書院に襖絵寄進のお申出があり、数年前から柴田長俊画伯が何度も寺まで出張されて構想を練っておられました。昨年末までに七幅の襖絵（写真はその一部）が搬入され面目を一新いたしました。近く個展に出品の予定もあり画伯の代表作の集成ともいわれ当寺にとりましては新しい寺宝となりました。

写真上は十五畳の間から見る襖絵（一間半二枚立て）で当寺周辺の風景、弥彦連峰を遠景に、国上山を近景に配した眺めで和島村方面からの構図という。しぶい金色と茜色を多用し秋の明るい感じを強調している。

写真下は八畳の間から見る襖絵で雪の妙高と野尻湖の景、早春払暁の景で群青色を多用し手前に桜のあたたかい色調を配している。そのほか三幅がある。建具表装は長岡の丘巧芸、新潟の神尾万正堂が担当されました。



写真は麓二区武石忠雄氏の提供による。

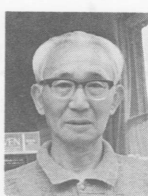
柴田長俊画伯略歴 49年上越市に生まれる
74年和光大学芸術学科卒業、76年多摩美術大学大学院美術研究科修了、84年上野の森美術館絵画大賞展で優秀賞受賞、85年文化庁在外研修員としてスペイン、カタルーニャ美術館に滞在、88年創画会会員、97年、スペイン、バルセロナで個展を開く。

先祖の故郷を 訪ねて



当寺の開基祐善は寺伝によれば能登柏原の人で天正年間戦禍をのがれ海路越後をめざし間瀬の浜に上陸、その後麓の人々の帰依を得て天正12年当寺を建立した。祐善に供奉して同じ船で越後に移住した信徒が七人と伝えるが、そのほか三人を加えた十人説がある。先祖の故郷柏原がどこにあるのか前住職は郵便局の台帳で調べたが判明しなかった。

ところが昭和48年弥彦村誌を読まれた和嶋俊二氏から手紙で石川県珠洲市宝立町柏原であるとご教示頂いた。今から実に25年も前のことである。心にかねがねのびのびになっ



ていた先祖の故郷を訪ねる旅を実行することにしました。今年4月和嶋先生(写真、郷土史家、地名研究家)

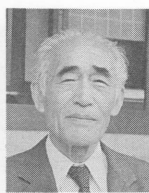
に連絡をとりましたところ、お元気で快くお世話を頂きました。ありがたいことでした。21日午後金沢駅前から高速バスにゆられる

こと二時間半飯田車庫前着、先生のお出迎えを頂き民宿で二晩お話を伺いました。22日はタクシーでまず柏原を訪ねました。地名の由来する加志波良比古神社……春祭の前日ということで幟(写真)が立てられている。由緒の碑に「天正の兵乱で神社は破壊され」の文字にハットとする。天正5年9月のことであらうか。ところで平成3年台風で被害を受けたが篤志者らの浄財で復興再建、境内には柏原集会所も建てられている。集落内を歩いてみると市営バス「能登柏原」の標識が目につく。



近くの掲示板に区長さんのお知らせの貼り紙があった。日用雑貨店のおばさんにあいさつする。妙に心が和む。奥能登のさいはて緑剛崎灯台まで波の花が舞う海岸沿いの道路をひた走る。平日のせいかな人影となく先祖の昔に想いをはせるゼイタクなひとときを過ごした。午後は上戸の善慶寺さんを訪ねる。実は

この日の朝、珠洲市でただ一人柏原姓を名乗る柏原尚愿氏宅、その本家筋に当たたる渡辺家を和嶋先生からご案内頂いた。柏原尚愿(シヨウゲン)氏はかつて飯田高校で和嶋先生と同僚の間柄、今はお宅を留守にして金沢市観音堂町におられるご長男と同居中との由である。善慶寺は現在磯越俊雄氏が住職を務めておられるが以前は渡辺家で、越後の新津から来られたという。渡辺綱の子孫と伝える。

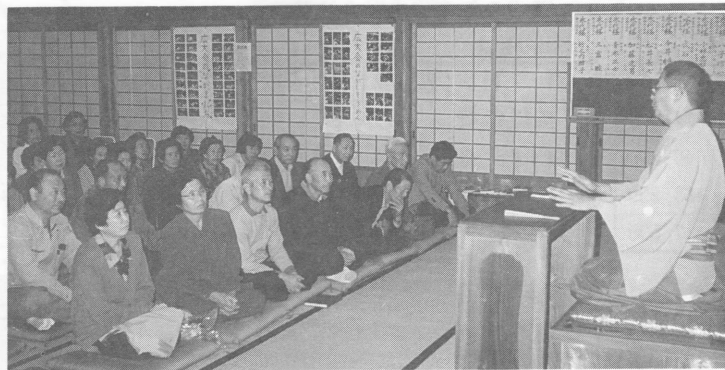


23日の帰途、和嶋先生のおはからいで金沢駅前で柏原尚愿先生(写真)にお会いできたのは全くの幸運。

駅近くの東別院の畳の上で面談頂いた。柏原家は渡辺家(善兵衛)から分家して四代目で柏原の姓は善慶寺の住職のすすめによるという。柏原の地は日野家の莊園、土を掘ると矢弾が多く出てくるという。「天正の兵乱」に思い当たる。別れ際に「宗玄」という銘酒を頂いた。柏原家の御本尊の願主が宗玄とあるとの由、三宝章とおぼしいマークがついているのが注目される。

善慶寺の先祖のルーツをたずねる旅を企画してはというご提案を頂いております。11月15、16日(一泊二日、バス利用)を一応予定しております。秋になりましたら改めてご案内をお届けすることになりますが、その節は何卒よろしく願います。

出前 講談 宝井琴梅独演会

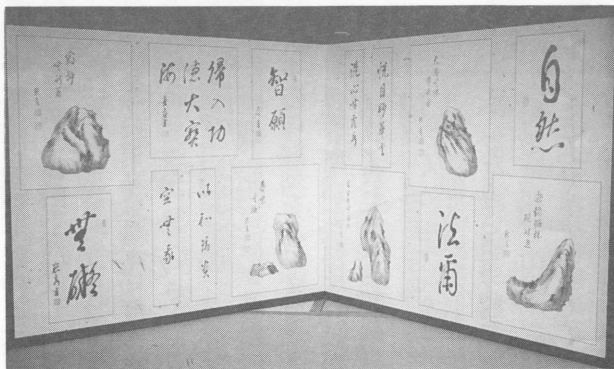


当寺間法
会の主催で
例会230回記
念寄席が昨
年10月23日
の夜、農は
国の基なり、
夜もすがら
検校の二席
名調子で開
演、約70名
あまりの聴
衆の皆さん
から一日の
疲れをいや
し一タゆる
りと肩をほ
ぐしてお楽
しみ頂いた。

広大会その後の歩み

昨年5月発足の広大会（こども会）のその
後の歩みは次のとおり。毎月1回第4土曜に
開催、現在入会登録者27名、平均20名の参加
腕輪念珠とプリントをとじる紙ファイルを配
布、活動の内容はおつとめ、講話、恩徳讃の

練習、レクリエーション。昨年度のイベント
は7月の流しそうめん大会、10月のおにぎり
大会、夏休みには新潟教区の児童大会（妙高
池ノ平、一泊二日）に6名が参加しました。
長寿者の表彰
塗り木杯を授与し褒状を送って表彰しており
ます。呼び年90歳から申請できます。平成10
年は明治42年生まれの方が呼び年90歳です。
ご希望の方は寺まで保険証をご持参下さい。
コピーしてすぐにお返しいたします。
お墓参りについてお願い
いしました
が、お菓子
果物、たば
こ、お酒な
どのお供物
はお参りが
すみました
らお持ち帰
り願います。
野犬が食い
散らします。
空きビンも
突風に割れ
て参道に散
乱し危険と
なります。



練習、レクリエーション。昨年度のイベント
は7月の流しそうめん大会、10月のおにぎり
大会、夏休みには新潟教区の児童大会（妙高
池ノ平、一泊二日）に6名が参加しました。
長寿者の表彰
塗り木杯を授与し褒状を送って表彰しており
ます。呼び年90歳から申請できます。平成10
年は明治42年生まれの方が呼び年90歳です。
ご希望の方は寺まで保険証をご持参下さい。
コピーしてすぐにお返しいたします。
お墓参りについてお願い
いしました
が、お菓子
果物、たば
こ、お酒な
どのお供物
はお参りが
すみました
らお持ち帰
り願います。
野犬が食い
散らします。
空きビンも
突風に割れ
て参道に散
乱し危険と
なります。

ことしの年忌当たり年

1回忌	平成9年没
3回忌	平成8年没
7回忌	平成4年没
13回忌	昭和61年没
17回忌	昭和57年没
23回忌	昭和51年没
27回忌	昭和47年没
33回忌	昭和41年没
37回忌	昭和37年没
50回忌	昭和24年没
100回忌	明治32年没
150回忌	嘉永2年没
200回忌	寛政11年没

御寄進

次のような御寄進を
いただきました。御懇

念まことにありがたく御礼を申し上げます。

▼風炉先屏風 東京 松宮 信一殿

前住職最晩年の遺墨の小品を貼り交ぜにし
て表装させて頂きました。（写真上）

▼書院襖絵 七幅 燕市 大谷 統司殿

詳細は1頁の記事参照

▼本堂参拝者用座椅子十二脚揃

麓二区 堀内 杉子殿

▼南側墓地境界土留め工事（次頁参照）

▼北側境界土留め工事（次頁参照）

燕市 大谷 統司殿

山岸山崎地区総代世話方の異動 松居鉄雄

（屋号は駒吉）殿が辞任され代りに石井昇
（屋号は新次郎）殿をお願いしました。

I 平成9年度当寺勸金決算書

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
勸 金	2,314,000
雑収入	40,296
繰越金	63,299
計	2,417,595

負担金の内訳

広福寺分	553,810
心光寺分	157,110
ともしび代	24,000

〔支出の部〕

科 目	決 算 額	摘 要
寺務経常費		
負 担 金	734,920	本山護持金・ともしび代
事務通信費	150,898	複写・切手・はがき
会 議 費	78,363	世話方会議・総代会議
教 化 費	225,963	御布教・聞法会・広大会
宮繕管理費	772,232	鐘楼塗装・火災共済
門徒交際費	205,530	御本尊下付・謝礼
(小 計)	2,167,906	
事 業 費	200,000	広福寺基金積立金
繰 越 金	49,689	
計	2,417,595	

II 平成10年度当寺勸金予算書

〔収入の部〕

科 目	予 算 額
勸 金	2,200,000
雑 収 入	20,000
繰 越 金	49,689
計	2,269,689

〔支出の部〕

科 目	予 算 額
寺務経常費	1,700,000
事 業 費	500,000
予 備 費	69,689
計	2,269,689

定例総代会議決議のお知らせ 去る二月一日の平成十年度総代会議で別表ⅠⅡの決算書予算書がそれぞれ承認されましたのでお知らせ申し上げます。御本山仏光寺と広福寺のおとりもちに寄せられました門徒各位の愛山護法のご懇念まことにありがたく厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年度は教化費で広大会に三万円の補助金

が交付されました。宮繕管理費で鐘楼と水屋（井戸小屋）の保存剤塗装に四十八万七千二百円かかり事業費の広福寺基金積立金は二十万円となりました。この積立金は本年度も継続となりました。

一戸当たり八千円の勸金

今年も昨年

納していたことが申し合わされました。

女性講

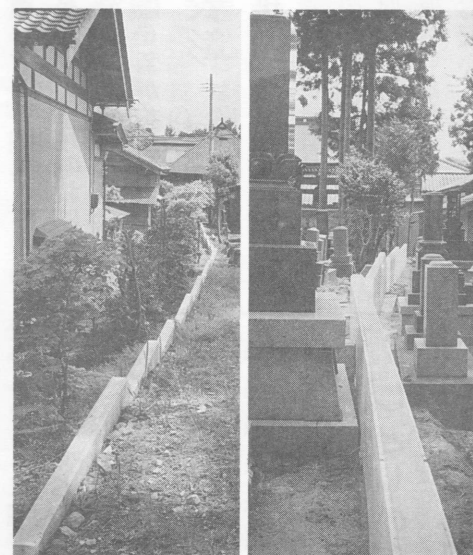
寺に近い麓、観音寺村山境江、山岸山崎、辰ノ口長崎地区のご門徒へ毎年彼岸納めの九

月二十六日、ご案内をさしあげ女性講（によしょうこう）を勤めております。この地区の方々は勸金と同時に一戸当たり二百円の講金を上納下さるようお願いいたします。講金は当日のお賽銭と合わせて積立て講の運営に充てております。御布教は寺泊聖徳寺窪沢泰忍師をお願いしております。

墓地管理費

旧墓地も含め当寺墓地にお墓をおもちの方に墓地管理費（年間二千元）を納めて頂くことが一昨年世話方会議で決議されました。勸金と同時に上納をご希望の方は世話方にお申し出下さい。シルバー人材グループ会に清掃管理を毎月お願いしております。

境界土留め工事が竣工



当寺旧墓地南側境界土留め工事Ⅱ写真右が昨年九月竣工、続いて北側境界土留め工事Ⅱ写真左が十月に竣工しました。いずれも大谷統司氏のご寄進で進められました。国調委員を務められた地元世話方山岸哲也氏から隣地との折衝に当たっていただきました。